



# NIPPON SCOUT JAMBOREE INFORMATION

## 第3号

第19回日本スカウトジャンボリー  
ジャンボリーインフォメーション  
2026年2月3日発行

### ジャンボリー インフォメーション とは

各県連盟の派遣団や参加予定者を対象に、大会参加に向けた準備に必要な情報を提供することを目的として発行します。大会までに数回の発行を予定し、毎号、最新の情報を提供していきます！大会のウェブサイトなどで公開しますので、大会への準備に活用してください。

#### ■参加確定申し込み・・・1-2

確定申込について

派遣隊

参加費

大会運営スタッフは追加申込を！

派遣隊指導者・大会運営スタッフ

などの交替参加

#### ■プログラム・・・3

会場内プログラム

地域プログラム

#### ■薪割の注意・・・4

#### ■セーフ・フロム・ハーム・・・4

過去大会（17NSJ）での取り組み

今大会での対応

#### ■配給と献立・・・4-6

派遣隊の献立

食物アレルギーへの対応

その他の配慮を要する対応

食中毒への対応

大会運営スタッフなどへの対応

薪・氷の配給について

#### ■見学者情報NO.1・・・6

大会の見学について

#### ■報道担当者について・・・7

派遣団メディアリエゾン（報道担当者）の選任

#### ■神石高原町との

コラボレーション・・・7

神石高原町のマスコット・キャラクター「神石高原 四仙人衆」がコラボします！

## 参加確定申し込み

### 確定申し込みについて

大会に参加する参加者（派遣隊スカウトおよび指導者）・大会運営スタッフ・派遣団本部スタッフは、参加確定申込で正式な参加者登録となります。1月末に各県連盟へ確定申込の手続きについてお知らせしました。今後、Webページにて掲載していきます。これらの情報を参照して、次の期日までに参加費（予納金を除いた残額）を添えて、申し込み手続きをお願いします。

○団から県連盟への申込 2026年4月10日

○県連盟から日本連盟への申込 2026年4月20日

参加予定申込後の参加者の変更や、参加確定申込からの新規申込も可能ですが、派遣隊については予定申込より大幅な人数の増減や派遣隊の必要区画数（隊数）に変更が生じる場合には、所属県連盟を通じて日本連盟と調整のうえ、申込手続きを進めてください。

### 派遣隊

派遣隊 1 区隊あたり40人を基準に、ボーイスカウト班とベンチャースカウト班を編成します。隊長を除く引率指導者は、やむを得ず全日程参加できない場合には2人1組による交替参加を可能とし、この場合には40人を超えての隊の編成ができます。

### 参加費

参加者は、一人あたり60,000円（予納金10,000円＋残額50,000円）を所属県連盟を通じて日本連盟へ納入します。参加予定申し込みを済ませている方は、必要書類と一緒に参加費の残額（一人あたり50,000円）を、所属県連盟を通じて納入してください。参加確定申し込みから新規で申し込む方は、一人あたり60,000円を一括して納入しますが、辞退者の予納金を振り替えることができますので、団・地区・県連盟で調整してください（ただし、予納金を参加費残額の一部に振り替えることはできません）。



## 大会運営スタッフは追加申込を！

大会運営スタッフには、ローバースカウト・指導者・スカウトクラブ会員などが参加でき、本大会では県連盟派遣団本部スタッフを含め、約1,600人のスタッフを必要としています。参加予定申込ではまだまだ不足しています。参加スカウトに楽しいジャンボリーを提供するため、各県連盟派遣団の派遣隊1ご隊につき10人以上の推薦をお願いしていますので、ご協力をお願いします。

大会運営スタッフを希望する方は、別途、『ジョブカタログ』にて各部の主な業務内容や必要な特技・技能・資格などをご確認のうえ、第1希望から第3希望までの部署を選択し、お申し込みください。

参加予定申込では、売店部・広報部・総務部が定員を超過し、プログラム部・輸送部が大きく定員を割っていますので、希望部署の選択にご配慮ください。

なお、大会運営スタッフと県連盟派遣団本部スタッフが、やむを得ず全日程参加できない場合には、2人1組による交替参加、または遅参・早退を認めます。

参加費は、交替参加の場合は1人あたり40,000円（予納金10,000円＋残額30,000円）、遅参・早退の場合は参加費の減額はありません。

### 【大会運営スタッフの留意事項】

- ・奉仕部署によっては交替参加者に対応できない部署もあります。遅参・早退については、参加日程によっては希望部署に添えない場合があります。
- ・交替相手とともに同一部署に申し込むことを原則とします。
- ・派遣隊1ご隊あたり10人の大会運営スタッフの割当については、2人1組を1人分とします。

## 派遣隊指導者・大会運営スタッフなどの交替参加

派遣隊指導者（隊長を除く）、大会運営スタッフ（運営委員・専門部会員を除く）・県連盟派遣団本部スタッフ（派遣団長を除く）で、やむを得ず全日程参加ができない場合、大会前半・後半（2人1組）での交替参加（参加費1人あたり40,000円）も可能です。

交替参加にあたっては、入退場時の輸送手段の確保、重複期間の食材の配給や給食、生活サイトの利用を効率よく運営するため、交替参加者の入場・退場日を定め、大会中日の8月7日（金）に業務を引き継ぎます。交替参加は、県連盟派遣団本部による参加人員の割当や輸送計画などにも影響しますので、可否については所属の県連盟にお問い合わせください。

参加区分	参加日程	参加日数・食数
派遣隊指導者	全日程参加	6泊7日・17食 8月4日(火)夕食～8月10日(月)朝食
	交替参加 (隊長を除く)	前半：4泊5日・12食 8月4日(火)夕食～8月8日(土)昼食
		後半：4泊5日・11食 8月6日(木)夕食～8月10日(月)朝食
大会運営スタッフ 県連盟派遣団本部 スタッフ	全日程参加	9泊10日・26食 8月2日(日)夕食～8月11日(火)朝食
	交替参加 (運営委員・専門部会 員・派遣団長を除く)	前半：6泊7日・18食 8月2日(日)夕食～8月8日(土)昼食
		後半：5泊6日・14食 8月6日(木)夕食～8月11日(火)朝食

※「交替参加」は2人1組が基本で、前半のみ、後半のみで組合せができない場合には、遅参・早退となります。

# プログラム

## 会場内プログラム

場内プログラムは、モジュールプログラムを採用し5つのテーマを6つのエリアで展開します。プログラムは、ボーイスカウト向け・ベンチャースカウト向けに展開し、誰もが楽しみながら自己開発を促進できるよう工夫してあります。さらに、今回は会場となる神石高原町の小中学生にも体験いただくように準備を進めています。

競技・チャレンジ・知的体験をテーマとしたプログラムを20個程度、人権・平和をテーマとしたプログラムを10個程度、環境・防災をテーマとしたプログラムを10個程度準備しており、そのほかにも協力団体・企業団体から10個程度のプログラムを提供いただけるよう準備中で、確定次第このジャンボリーインフォメーションで公開していく予定です。

ベンチャースカウト向けのプログラムの中には、事前に課題が提示され、ジャンボリー期間前に下準備をしてから参加することで、知識・理解を得て自己開発ができるものを用意しています。

## 地域プログラム

今大会では、地域とつながることを重要なコンセプトとしており、場外で体験するプログラムを「地域プログラム」と呼びます。期間中すべてのスカウトが、地域プログラムに参加できるよう準備をしています。

それぞれ、教育的な要素をもつプログラムを20以上用意しており、参加スカウトは大会期間中の5日・6日・8日・9日のいずれかで参加します。コースの割り当て方法は後日ご案内いたします（派遣隊の事前希望制ではありません）。ベンチャースカウトを対象としたプログラムではよりハイアドベンチャーな内容を用意しており、

過去のジャンボリーと同様に「日本一プログラム」を今回も開催します。

種目については、火起こし・手旗・班旗立てを準備中です。このレギュレーションなどについては今後のジャンボリーインフォメーションで発表していきます。

その他に、各サブキャンプでチャレンジできるプログラム、各派遣団からのプログラム、ジャンボリーに参加できないスカウトたちも一緒に楽しめるプログラム（ジョイン・イン・ジャンボリー）などを準備しています。

どのプログラムも日常のスカウト活動の延長線上にあり、進歩・進級を意識してスカウトが自ら挑戦できることをねらいとし、人権・平和・環境・防災のキーワードを盛り込んだものとなっています。

こちらは事前希望制で、派遣隊長もしくは自隊長に承認された実施計画書を事前に提出していただきます。進級課目に絡めたものとして展開することも想定することができます。

ベンチャースカウトを対象としたプログラムの例

- ・しまなみ海道サイクリング
- ・中国地方最高峰 大山登山
- ・尾道市の地域調査

※ベンチャースカウトを対象としたプログラムの一部は有料（参加費以外の追加徴収）です。

次号のジャンボリーインフォメーションにおいてもプログラムの最新情報をご紹介します。



## 薪割の注意

薪を燃料とする大会において、最も警戒すべきリスクの一つがナタによる負傷事故です。過去の大会における事故例を振り返ると、その多くは具体的な作業動作の中に潜んでいます。例えば、「ナタを持ち上げようとした際に手から滑り落ち、添えていた手の上に直撃する」「薪に刃がうまく食い込まず、そのまま薪を支えていた方の手を切りつける」「振り下ろした瞬間に薪の上で刃が跳ねて横滑りする」「薪にナタが食い込んだ状態で無理に振りかぶり、コントロールを失う」といった、一瞬の不注意や無理な動作が重大なケガに直結しています。

こうした事故は、スカウトや指導者の習熟度、道具や薪の状態、そして作業環境といった複数の要因が偶然重なり合った時に発生します。

しかし、何らかの不安要素が道具や環境にあったとしても、それらを事前に把握し、適切な対策を講じることで事故の連鎖は断ち切ることが可能です。ナタによる事故を防ぐためには、単に一般的な注意を促すだけでなく、こうした過去の具体的な事故パターンを念頭に置いた指導が不可欠です。

各隊におかれましては、事前訓練の段階から各スカウトの技能を正確に評価し、それぞれの隊・スカウトに応じた対策を講じてください。指導者自身の経験から事故のパターンを予測し、現場の状況に合わせた具体的な指導を行うことこそが、最も実効性の高い予防策となります。事前訓練で十分に備え、会期中の安全対策が万全に行われるように努めてください。

## セーフ・フロム・ハーム

### 過去大会（17NSJ）での取り組み

ボーイスカウト日本連盟では、平成29年度より安心して安全なスカウト活動を提供するため、「セーフ・フロム・ハーム」ガイドラインを策定し、すべての指導者に対して加盟登録時の「セーフ・フロム・ハーム」の研修（Eラーニングで提供）を必須としました。これにより、いじめ・身体的虐待・心理的虐待・ネグレクト（無視）・搾取（児童労働、無理に奪う取る）などの危害について、予防と対処法を実践し、スカウト運動の「質」向上を目指しています。

今大会においても、すべての参加者が安心して安全な活動をし、質の高い大会を目指すためセーフ・フロム・ハームに取り組みます。

### 今大会での対応

セーフ・フロム・ハームの未然防止のためにすべての参加者が「気づきの目」をもって大会に参加することが必要です。参加者の言葉遣い、態度などにも注意を払い、必要な場合は注意をするなどの対応をとります。

大会会場内でセーフ・フロム・ハームに該当するものを見た、聞いた、または受けたという場合、近くの警備担当者や本部スタッフ、参加隊指導者などに通報します。

また各サブキャンプの担当窓口への相談や、特設ダイヤルで通報も可能な態勢を整える予定です。詳しいことはハンドブックなどを通じて周知していきます。

## 配給と献立

### 派遣隊の献立

期間中の参加者の献立を紹介します。ジャンボリーインフォメーション第2号で紹介しましたが、神石高原の美味しいお米（無洗米）、地元特産品を使用し、ジャンボリー期間中に仲間と調理することの楽しさや、調理技能を磨ける献立とし、しっかりと食の大切さを実感していただきます。

献立中の昼食については、活動プログラムにあわせて「携行食」となり、パン、ゼリー飲料など調理済の加工食品を朝の配給時に配ります。



月日 主な予定	朝食 (朝に配給)	昼食 (朝に朝食と一緒に配給)	夕食 (夕方に配給)
8月4日(火) 参加者入場 設営・開会式			チャーハン(レトルト) 中華スープ(インスタント)
8月5日(水) プログラム	ウインナー、おかずみそ ごはん みそ汁(キャベツ、エノキ、玉ネギ)	惣菜パンまたは菓子パン(選択制) ポテトスナック ジュース	神石高原焼肉風 ごはん わかめスープ
8月6日(木) プログラム	キャベツソテー ごはん、野菜ふりかけ みそ汁(ジャガ芋、揚げ、玉ネギ)	惣菜パンまたは菓子パン(選択制) ゼリー飲料 ジュース	広島風焼きそば ごはん きのこスープ
8月7日(金) 信仰奨励 J大集会	ハンバーガー 具たくさんコンソメスープ ポテトサラダ、牛乳	惣菜パンまたは菓子パン(選択制) 魚肉ソーセージ スポーツドリンク	神石高原ポークカレー ごはん 神石高原産水餃子
8月8日(土) プログラム	ハムソースステーキ ごはん 豚汁	惣菜パンまたは菓子パン(選択制) 果物 ジュース	神石高原すき焼き風 ごはん わかめスープ
8月9日(日) プログラム 閉会式	焼き鮭、ごはん みそ汁(わかめ、揚げ、玉ネギ) ヨーグルト	カレー(常備用レトルト) ごはん ポテトチップス、ジュース	神石高原牛丼 サラダ
8月10日(月) 撤営 参加者退場	ビスケット菓子、ゼリー飲料 大会期間中の災害用非常食として準備します		

※今後の調整や手配状況により、一部変更となる場合があります。

## 食物アレルギーへの対応

食物アレルギーとは、特定の食べ物に含まれる「アレルゲン(アレルギーの原因となる物質)」に「免疫」機能が過剰に反応してしまい、体にさまざまな症状をおこすものです。症状はさまざまですが、中には死に至る場合もあることから食品に含まれるアレルギー物質に関して、正確な情報が必要となります。

キャンプ生活では、集団で生活を行うことから、アレルギーのある人だけでなく、一緒に生活をする仲間もアレルギーについて理解し、行動することが大切です。

食品のアレルギーについては、日本の「食品衛生法」で表示が義務付けられているアレルゲン特定原材料(アレルギーの原因となる可能性がある食材)の次の8品目を記載しています(2023年3月に「くるみ」が追加されて8品目となりました)。

### 8品目アレルゲン特定原材料

えび・かに・小麦・そば・卵・乳(牛乳)・落花生(ピーナッツ)・くるみ(2023年3月に追加)

各参加者には、参加確定申し込みの際に確認したアレルギーの有無の内容を参考に、配給食材の置き換えなどの準備をしています。期間中も改めてサブキャンプの配給担当者から、派遣隊を通じてアレルギーの有無などを問い合わせしていく予定です。

### その他のアレルゲン原材料

表示が推奨されているその他のアレルゲン原材料である次の20品目については、献立食材決定時点の食材に表示されているものを記載してありますが、最終配給食材が変更になる場合もありますので、配給された食材の包装パックの内容表示での確認も徹底してください。

20品目アレルゲン特定原材料に準ずるもの  
アーモンド・あわび・いか・いくら・オレンジ・カシューナッツ・キウイフルーツ・牛肉・ごま・さけ・さば・大豆・鶏肉・バナナ・豚肉・マカダミアナッツ・もも・やまいも・りんご・ゼラチン

以上の20品目のアレルゲン原材料の代替品についての用意はありませんので、派遣隊もしくは参加者個人で代替品の用意をお願いします。

## その他の配慮を要する対応

大会には海外からの参加者もあり、宗教や信条から食事に配慮を要することがあります。大会本部では、このような配慮を必要とする参加者については、配給時にそれぞれに対応した食材（ハラール食材やベジタリアン食材）を用意しています。

## 食中毒への対応

暑い時期で食品の腐敗などの恐れもあることから、食料の取り扱い、衛生面には注意を払ってください。特に残った食材については、次の食事に持ち越すことのないように適切に処分をしてください。食事の際は、手の洗浄やアルコール消毒なども実施してください。

## 大会運営スタッフなどへの対応

本部食堂では、大会運営スタッフ、派遣団本部スタッフ、インストラクターなど協力者についても、食事に配慮を要する方のために対応食を準備します。

大会期間中は、大会運営スタッフの奉仕内容、時間がさまざまです。できるだけ、本部食堂で美味しい食事が食べていただけるよう、朝食、夕食の時間を長く提供できるよう検討しています。

また、昼間は、スタッフの休憩場所として開放するように準備を進めています。今後、決定したら、随時インフォメーションでお知らせします。

## 薪・氷の配給について

薪については、サブキャンプ本部配給担当者より、杉・松・桧などの針葉樹(長さ36cm程度・太さ6cm程度)の薪を、派遣隊1こ隊40人に対して20束程度(1束換算で約7kg、合計140kg)を支給します。針葉樹は燃えやすいので、派遣隊で数量を把握しながら、計画的に使用するよう心がけてください。

氷については、サブキャンプ本部配給担当者より、朝の食材配給時に1こ隊につき4貫目を一律に配給します。食材の保冷や熱中症対策にご活用ください。

保冷の必要性からクーラーボックスなどの保冷容器の持参を推奨します。



## 見学者情報No.1

### 大会の見学について

今大会では、より多くの方にスカウト運動や大会の意義を理解いただくために、地元の住民の方、加盟員であるスカウトや指導者、ご家族の見学を受け入れるべく、交通手段など、地元・大会各部と調整をしています。

詳細は決定次第、お知らせいたします。

## 報道担当者について

### 派遣団メディアリエゾン（報道担当者）の選任

本大会を契機とした地域におけるスカウト運動の認知向上を図るため、派遣団ごとに報道担当者（メディアリエゾン）を選任いただきます。

19NSJは、地域の青少年の活躍を地元のメディアに取り上げていただく絶好の機会です。各県連盟における結成式（2026年3月頃～）から大会終了後の報告会に至るまで、継続的に情報を発信し、地域社会との連携を強化するための担当者を選出いただくよう、県連盟宛に依頼しております。

#### ご協力をお願いしたいこと

- ・地元メディア（新聞、テレビ、地域情報誌など）への継続的な情報提供（プレスリリース発信）。
- ・県連盟派遣団（結団式、壮行会、帰県報告など）の取材誘致および対応。
- ・スカウト通信員プログラムとの連携、支援

#### 期間

2026年3月ごろ ～ 2026年10月ごろまで

#### 適任者（選出の目安）

- ・県連盟派遣団に1人。
  - ・県連盟の広報委員、ドリームチーム員、またはメディア対応に関心のある指導者・ローバースカウトなど。
  - ・パソコンによる文書作成（プレスリリースの編集）およびメール連絡が可能な方。
- ※現地参加者が最も望ましい。  
※過去大会では、ローバースカウトや広報に関心のある成人指導者が活躍しました。

#### 支援体制

- ・担当者には、19NSJ広報部（報道・企業班）より「活動の手引き」「プレスリリース雛形」を提供し、オンライン説明会などでサポートを行います。

#### 登録方法

- ・県連盟宛の依頼文によって、3月10日（火）までにご登録をお願いいたします。

## 神石高原町とのコラボレーション

### 神石高原町のマスコット・キャラクター 「神石高原 四仙人衆」がコラボします！

神石高原町観光協会のマスコット・キャラクター【神石高原 四仙人衆】。「こんにやく仙人」を筆頭に、その弟子の「トマト仙人」「神石牛仙人」「ピオーネ仙人」の四仙人です。「仙境の里」神石高原に古くから存在したといわれており、観光協会では彼らの力を借りて「神石高原」の知名度を全国区にするべく活動しています。

本大会では、ボーイスカウトと神石高原とのコラボにより、神石高原 四仙人衆がボーイスカウトのユニフォーム姿で記念品などに登場します！本大会ならではの特別なコラボレーションをぜひお楽しみください。



特徴：  
圧倒的な知識と  
経験をもつ

こんにやく仙人



特徴：  
インテリだが  
無駄に博学

トマト仙人



特徴：  
困難なことを  
やりとげる

神石牛仙人  
（通称：牛仙人）



特徴：  
芯が強い

ピオーネ仙人

## お問い合わせ

大会全般については、ボーイスカウト日本連盟事務局までお問い合わせください。大会への参加に関するお問い合わせは、所属の県連盟事務局までご連絡ください。

なお、神石高原町役場や関連施設へ直接のお問い合わせはご遠慮ください。



公益財団法人  
**ボーイスカウト日本連盟**  
SCOUT ASSOCIATION OF JAPAN

〒167-0022 東京都杉並区下井草4-4-3  
Tel: 03-6913-6262

ジャンボリーインフォメーション第4号は2026年4月頃に発行する予定です。

第4号への掲載予定内容：支給品、到着・到着、健康と安全管理、遺失物・拾得物、プログラム情報・アワード、リスニングイヤー（カウンセリング）、輸送、会場図、配給と献立、メディアセンター、売店情報など